

令和6年度県立広島大学 卒業式・大学院学位記授与式
理事長祝辞

令和6年度県立広島大学卒業式・学位記授与式が挙行されるこの良き日にあたり、お祝い申し上げます。

卒業ならびに修了を迎えられた皆さん、おめでとうございます。卒業・修了までの皆さんの努力に、深く敬意を表したいと思います。また、新しい門出を心待ちにしていた御家族や関係者の皆様にも、心よりお祝いを申し上げます。

高校を卒業し、本学へ入学された皆さん。学部を卒業し、又は社会人学生として、本学の大学院へ入学された皆さん。皆さんは、入学から卒業・修了までの間、本学での教育や研究、学生生活の様々な場面を通して、鍛えられ、磨かれ、入学時よりも、一回りも二回りも、大きく成長したことでしょう。ご自身が、そのことに一番気づいておられるのではないのでしょうか。そして、御家族、関係者の皆様も、卒業生・修了生の成長した姿に、感慨もひとしおと存じます。皆さんの多くは、これから社会に羽ばたいていかれることでしょう。本学で勉学に勤しんだ皆さんは、今、どのような将来を描いているのでしょうか。

私たちを取り巻く社会に目を向けますと、世界規模では、気候変動による自然災害などの環境問題や、国家間の紛争などの安全保障問題、日本国内でも高齢化や人口減少、それに伴う活力低下の懸念など多くの課題が発生しており、地域社会でも、様々な課題や問題が山積しています。皆さん自身も、これからいろいろな課題に直面することでしょう。そのような社会の中で、皆さんが思い描く将来の実現に向け、力強く、自由に羽ばたいていくために、学生生活で身に着けた「知識」、「技術」、「能力」と、これまでの人生で確立した「個」のいずれも、十分に発揮していただきたいと願っています。

いろいろな課題は、知識や技術だけで解決しうるものではありません。課題を解決し、よりよい社会にしていくためには、国や地域を超えた、人と人との繋がりが非常に重要になります。自分の考えを信じ、探求心を持って新たな知識やスキルを身に付け、人との繋がりを大切にしながら、社会に貢献されることを期待しています。皆さんなら、どんな障壁も乗り越えていけると信じています。

卒業生・修了生の皆さんのこれからの御活躍と健康を祈念し、お祝いの言葉とします。
本日は、ご卒業、誠におめでとうございます。

令和7年3月21日 広島県公立大学法人 理事長 鈴木 典比古